活用例 19

地球温暖化が叫ばれる昨今…
30年前とどれくらい変化している？

牛が地球温暖化の一因である。○か×か？

正解は○。
牛の胃のなかにいる微生物がエサを分解してメタンを発生させます。
その多くがゲップとして体外に排出されるので牛が地球温暖化の一因であるといわれているのです。
メタンは二酸化炭素の約２５倍もの温室効果があります。
そのゲップを野放しにしてはならないとニュージーランドでは「牛のゲップ税」を導入する計画が進められているんだとか。

MISSION

30年前と比べて地球温暖化がどれくらい進行しているのか地図で見てみよう！

1

気象庁の過去の気象データ検索ページへ
https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php

2

都府県・地方を選択をクリック

活用例 19

地球温暖化が叫ばれる昨今…
30年前とどれくらい変化している？

3

東京をクリック

4

さらに東京をクリック

5

年ごとの値を表示をクリック

6

1993年と2023年の気温(℃)の欄にある日平均値を調べる

1993年➡15.5
2023年➡17.6とわかるね

活用例 19

地球温暖化が叫ばれる昨今…
30年前とどれくらい変化している？

7

各都道府県庁所在地の気温も同様に調べる

今回は都道府県庁所在地の気象台のデータを地図上の都道府県に落しこんでいくよ
※札幌気象台の気温データを地図上の北海道に表示するなど

8

地図で見る統計（jSTAT MAP）に取り込むため気温のデータを手直し

●1993年の各都道府県庁「日平均値」
●2023年の各都道府県庁「日平均値」
のEXCELファイルをそれぞれ作成し
CSV形式で別名保存しておこう

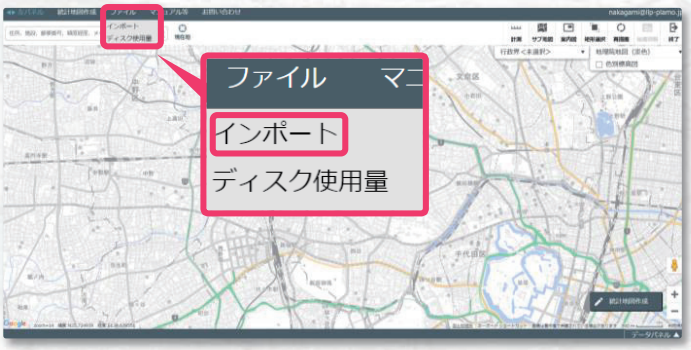
	A	B	C
1	コード	都道府県	1993年
2	01	札幌	8.7
3	02	青森	10
4	03	盛岡	9.7
5	04	仙台	11.8
6	05	秋田	11.1
7	06	山形	11.2
8	07	福島	12.3
9	08	水戸	12.9
10	09	宇都宮	13
11	10	前橋	13.9
12	11	さいたま	14
13	12	千葉	15.1

1行目はタイトル（指標名）

1列目は地域コード
今回は都道府県コードを使用

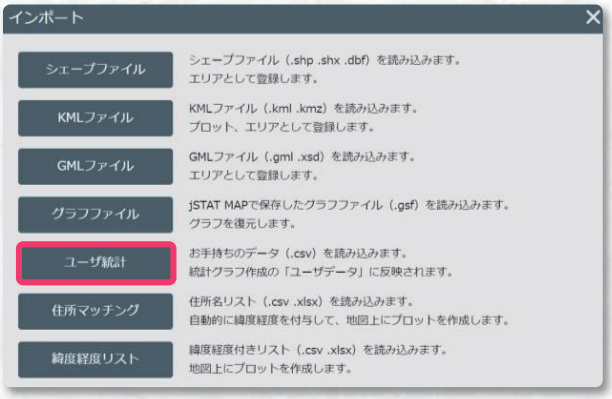
2列目以降はデータ
今回は気象庁の過去の気温データから引用

9



ファイルをクリックし インポートを選択

10

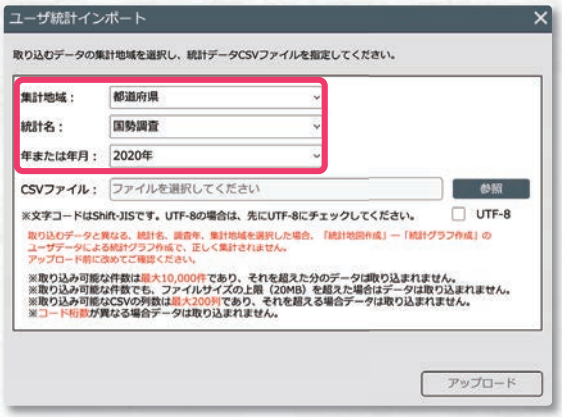


ユーザ統計をクリック

活用例 19

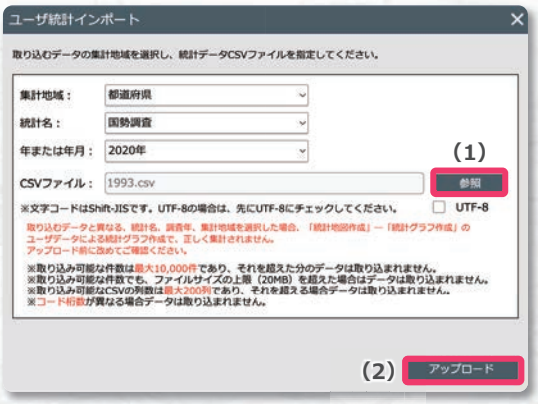
地球温暖化が叫ばれる昨今…
30年前とどれくらい変化している？

11



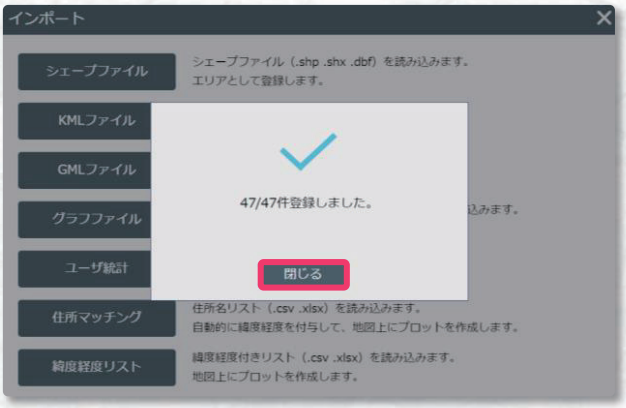
最新の行政界情報として
集計地域は**都道府県**、統計名は**国勢調査**、
年または年月は **2020年**を選択する

12



参照をクリックし❽で作成した
1993年の取り込み用データ
（CSVファイル）を選択し**アップロード**

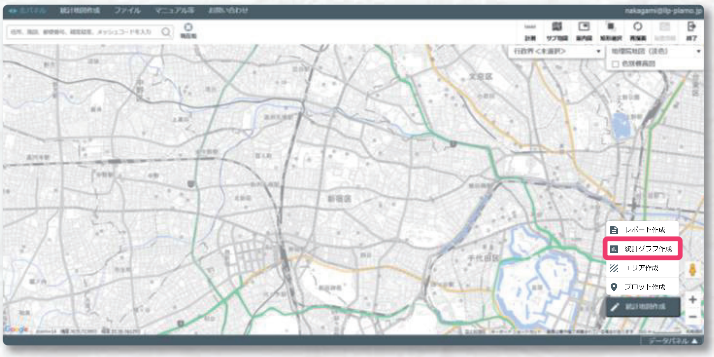
13



登録件数を確認し問題なければ
閉じるをクリック

2023年の取り込み用データも
同様の手順でアップロードしよう

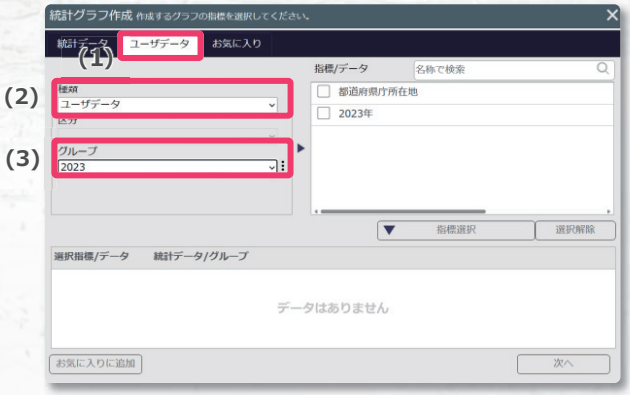
14



統計地図作成の**統計グラフ作成**を
クリック

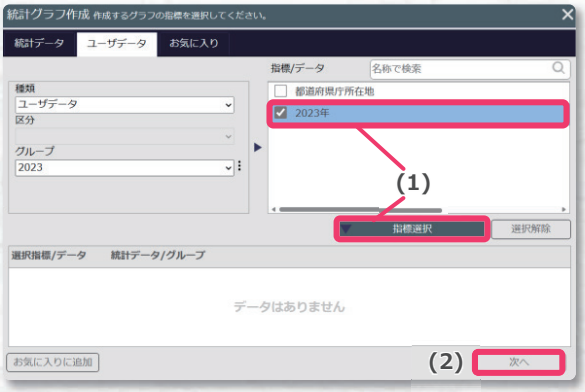
地球温暖化が叫ばれる昨今…
30年前とどれくらい変化している？

15



ユーザデータをクリック
➡種類を「ユーザデータ」
➡グループをインポートした
CSVファイル

16

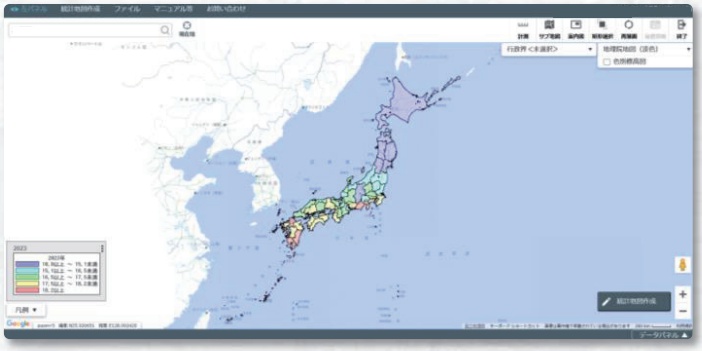


2023年を指標選択
➡次へをクリック

17

各項目を図のように設定し
集計開始

18

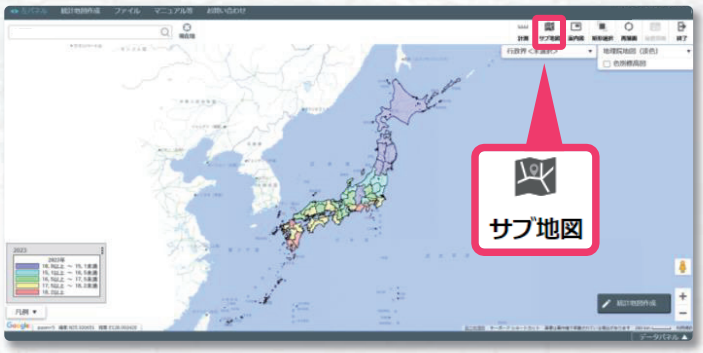


都道府県庁別の2023年の平均気温が
色分けされて地図に表示されました

活用例 19

地球温暖化が叫ばれる昨今…
30年前とどれくらい変化している？

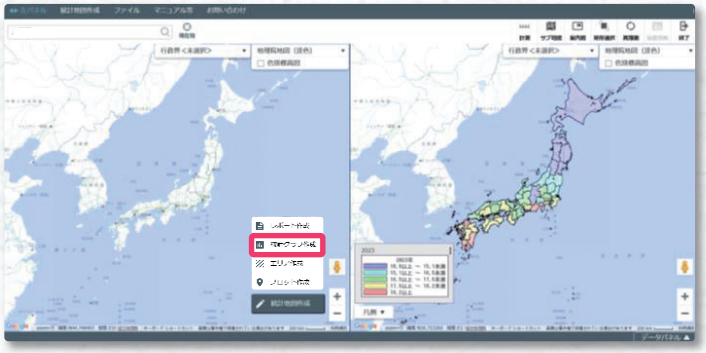
19



サブ地図をクリック

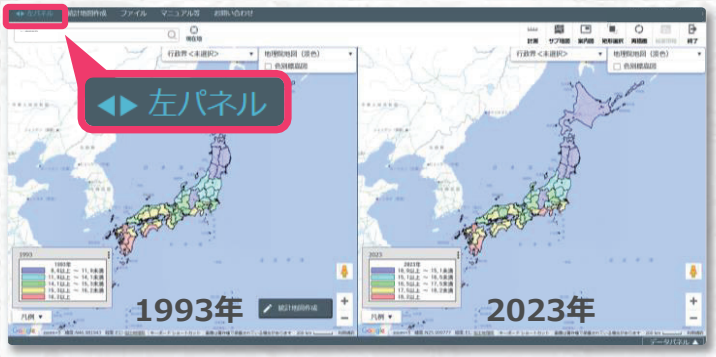
サブ地図をクリックすると地図画面が
２分割され２つのグラフを比較できる

20



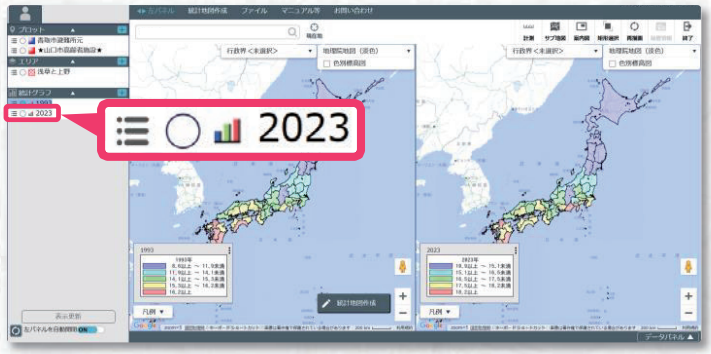
左の地図の**統計地図作成**の
統計グラフ作成をクリックし
先ほどと同様の流れで1993年分の
統計グラフを作成する

21



1993年と2023年の気温が
２画面表示ができたら
画面上部の**左パネル**をクリック

22

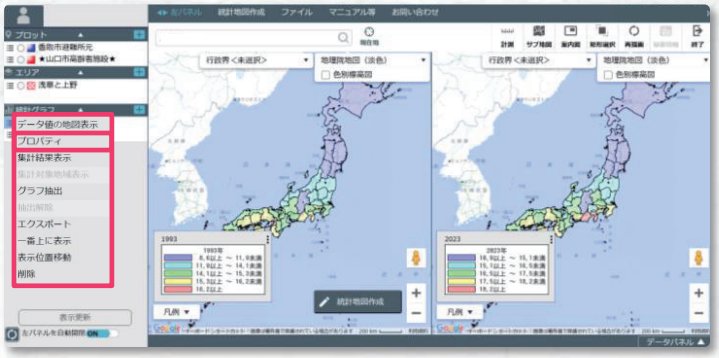


2023部分の ☰ をクリック

活用例 19

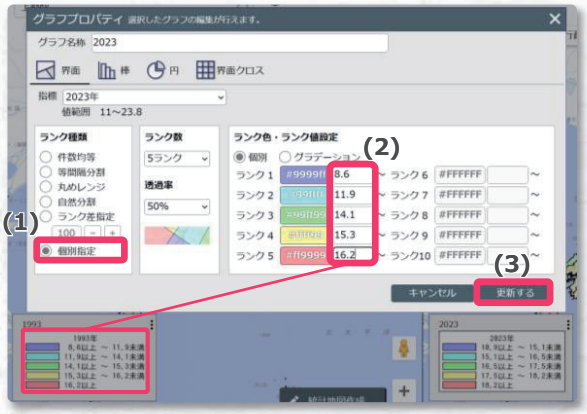
地球温暖化が叫ばれる昨今…
30年前とどれくらい変化している？

23



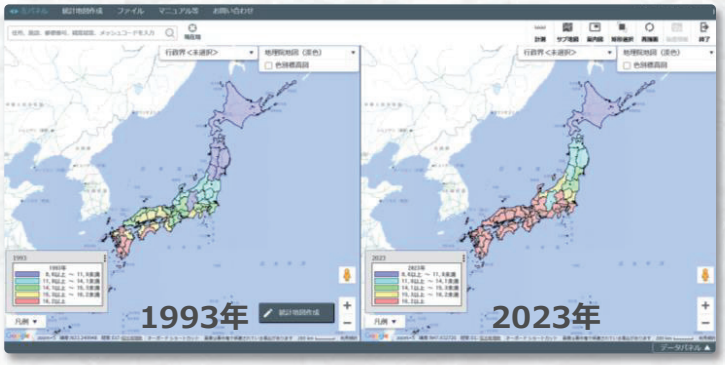
プロパティをクリック

24



ランク種類を個別指定にして
ランク値設定を１９９３年と同様に
打ち換えて更新をクリック

25



この30年間で多くの地域で
平均気温が上がっていることが
わかりました

地球温暖化が進行していることが
伺えるね

COMPLETE

地球温暖化の豆知識

地球温暖化による海水温上昇で
日本近海ではブリとサワラの
漁獲量が急増している一方で
スルメイカの漁獲量は
激減しているそうだよ。

Statistics Japan